

今月のイチオシ「花と緑の滋賀シリーズ」

江戸時代から全国に名を馳せる！

栗東の特産品「目川ひょうたん」



あいのしゆく めがわたてば

間の宿「目川立場」でお茶やお酒を入れる容器として、旅人が愛用！

- ・ 東海道の通る栗東には、江戸時代、草津宿と石部宿の間にある旅人の休憩所「間の宿」として、「目川立場」「梅ノ木立場」という二つの立場があった。
- ・ 目川立場は、旅人の必需品を売る多くの店や茶店で賑わい、中でも、ひょうたんは旅人がお茶やお酒などを入れる容器として売られていたものと思われる。
- ・ 目川立場の名物の一つが、田楽茶屋で出されていたお酒「菊の水」であり、このおいしいお酒を飲む容器としても、ひょうたんは人気だった。



縁起物として、現在も人気！

- ・ 「目川ひょうたん」は、江戸時代中期以降明治の頃まで目川地域の農家の副業的地場産業だった。
- ・ 明治 35 年（1902 年）頃の記録によると、目川を中心に治田村で産出された瓢箪はるとむらの数は約 9,000 個、中には 6 尺（約 180 cm）を超える大きさのものもあったと伝えられる（「滋賀県物産誌」より）。
- ・ 近現代に至り、需要が減り生産量は落ちたが、栽培は今も続けられ、縁起物として各地で販売されている。

<縁起のよい理由>

①末広がりの形！

古来より非常に縁起の良いものとされ、除災招福のお守りや魔除けとして広く用いられてきた。

②芽が出る！

特に作物の種入れとして用いられてきた歴史は長く、「瓢箪の中に入れた種は必ず芽が出る」ので、幸福や成功のチャンスがめぐってくると言われている。

③無病息災の縁起もの！

- ・ 3つ揃えば三拍（瓢）子揃って縁起がよい。
- ・ 6つ揃った「六瓢箪」は、無病（六瓢）息災のお守りになるとされる。
- ・ また、蔓（つる）が伸びて果実が鈴なりになる様子から、「家運興隆」、「子孫繁栄」のシンボルとされてきた。



<美しいひょうたんが人気>

- ・ 床飾りとこかざとしても珍重されてきた、「目川ひょうたん」。
- 美しい大津絵が描かれたものも人気です。



古来からの製法で、目川瓢箪生産組合が加工！

<現在の生産者>

- ・目川瓢箪生産組合の10人が、古来からの製法を受け継ぎ、加工しています。



<収穫直前のひょうたん>



<収穫したひょうたんを水につける作業>



10月22日開催の「東海道ほっこりまつり」でひょうたんを展示・販売！

- ・毎年、目川・岡地域一帯で、開催される「東海道ほっこりまつり」。住民手作りのまつりで、この日だけは、東海道の車の乗り入れを禁止し、東海道を歩きながらゆっくりと楽しむ。
- ・毎年、このまつりに合わせ、目川瓢箪生産組合が「目川ひょうたん」を展示・販売している。
- ・ほっこりまつりには、昨年も6,000人が来場。ぜひこの機会に、目川ひょうたんの魅力にふれていただくとともに、古きよき東海道をお楽しみください。

■第11回東海道ほっこりまつり…10月22日（日）開催 ※詳細は別紙

※18時からは、ひょうたんの加工・展示会を開催予定



目川ひょうたんに関する問合せ

- ・目川瓢箪生産組合 Tel.077-553-3730
- ・栗東市観光物産協会 Tel.077-551-0126



まつりに関する問合せ

- ・栗東市役所 都市計画課 Tel.077-551-0116